
白い部屋 開かない扉 小さな窓 月の瞳

さきと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い部屋 開かない扉 小さな窓 月の瞳

【コード】

N6898D

【作者名】

ちきと

【あらすじ】

悠久の時…この小さな箱庭で…私はあの紅い瞳しか知らない……

紅い瞳が空から静かに見つめる夜には
胸の中に残った愛しさが心を揺らすよ
小さな窓から差し込む光に照らされて
滲む君の姿は誰にも見えないから

痛みなんて忘れた
哀しみさえ捨てた

君は虚ろに呟く

「誰も触れないで……」と

紅い瞳が空から静かに見つめる夜には
胸の奥に刻んだ哀しみが心を揺らすよ
小さな窓から流れる空の色は鮮やかで
でも君の色は薄れるだけだから

傷付けて傷付いた
終わらない夜の中

君は何かを流す

「大切だから壊して……」と

紅い瞳が空から静かに見つめる夜には
心の底へ隠した思い出達が溢れ出すよ
小さな窓から洩れる残光に手を延ばす
この手に残るものなんて何も無いのに

飛べない翼 歪んだ白い檻
知らない空 消えた紅い月

今日もまた開く事のない扉を独りで眺め
決して終わらない時にただ流され続けた

ひとりぼっちの部屋

哀しみと共に消えた
いたいけな君の笑顔
取り戻す術もなくて
救う事も出来なくて

虚ろな君の姿

「触れないで……」

「全部壊して……」

泣かないで

「求めないで……」

「笑わないで……」

強がらないで……

(誰か……誰か……)

(誰か触れてよ……！)

紅い瞳が空から静かに見つめる夜には
胸の中に残った優しさが心を揺らすよ
小さな窓から差し込む光に照らされて
滲む君の姿は誰にも見えないけど

紅い空が今日もまた静かに暮れて行く
君と重ねた心の色がとても哀し過ぎて
小さな窓から見える月が教えてくれた
ずっと欲しかったもの

そつ……ただ優しさが欲しかっただけ……

飛べない翼 歪んだ白い檻
知らない空 消えた紅い月

今日もまた開く事のない扉を独りで眺め
決して終わらない時にただ流され続けた

ひとりきりの部屋で……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6898d/>

白い部屋 開かない扉 小さな窓 月の瞳

2010年12月4日04時21分発行